



# あすなろ

登別市立幌別東小学校

学校だより

第11号

令和3年2月25日

## 「いつでも」「どこでも」「誰にでも」

登別市立幌別東小学校長 猪子 雅司

「いつでも どこでも 誰にでも」。この言葉は私が小学生の時に担任の先生から教えられた挨拶や返事をする際の基本的な考えです。この言葉を今でも掲示している学校があり、時折目にするとう当時のことが懐かしく思い出されます。

学校では挨拶や返事の大切さについて、生活・学習のあらゆる場面で、繰り返し指導しています。挨拶や返事がなぜ大切なのかについては、「元気な挨拶や返事は、お互いが良い気持ちになるから」、とか「会話のきっかけとなり、お互いが仲良くなれるから」とか様々な理由がありますし、どれも正しい理由に違いありません。それに加えて、この挨拶や返事の習慣は、社会生活を営む上では必ず身に付けておかななくてはならない習慣であることも、間違いのない事実です。と言うのも挨拶や返事は、人に与える印象や、自分が得られる評価に直結してくるからです。何度も顔を合わせる同じ職場の人や仕事相手もそうですし、普段、あまり話をしたことの無い、すれ違う程度の関係の人であっても「すれ違ったら挨拶をしてくれる人」、「こちらが挨拶をすると挨拶を返してくれる人」、「挨拶しても知らんぷりして通り過ぎる人」では、与える印象や得られる評価は大きく違って来るはずで

す。近江商人の心得の一つとして「三方よし」という考えがあります。三方とは売り手、買い手、そして世間という考えで、三方よしとは、売り手と買い手がともに満足し、また社会貢献もできるのがよい商売であるということです。「三方よし」という言葉の言わんとしていることは、挨拶や返事と結び付けて考えることもできるのではないのでしょうか。挨拶や返事は自分の気持ちを相手に伝える最初の一步です。小学生のうちなど、早い時期に身に付けておくと、一生の宝物になります。

本校の児童会では、2月8日から16日までの間を「あいさつ選挙 第2回」として、全校児童が元気よく気持ちの良い挨拶をし、幌別東小学校を挨拶が飛び交うすてきな学校にしようという取組を行っていました。大変すばらしい取組です。児童自身が、挨拶のもつ役割の大切さを感じ、より良い学校にしていこうとしている自主的な取組だからです。ぜひこの取組をきっかけに気持

ち良い挨拶が、校内だけではなく、「いつでも どこでも 誰にでも」広がっていくことを期待しています。

さて、挨拶や返事もとても重要なコミュニケーションツールですが、もう一つとても重要なコミュニケーションツールになり得るものが学校に導入されました。大きく報道もされているため、ご存じの方も多いでしょうが、国の施策である「GIGA スクール構想」(※高速大容量の校内ネットワーク環境と、一人1台のPC 端末の整備)により、全国の全児童・生徒にPC 端末が貸与されます。

本校にも今月、児童一人ひとりに貸与するタブレット端末が納入されました。現代社会では、PC、タブレット、スマホなどは生活の中で大きな役割を持ち、上手に使うことで私たちの生活をより豊かで、便利なものにしていきます。今後は本校でもこのタブレット端末を学習の様々な場面で活用していくことができます。

もちろん、この端末自体も一つの学習用具なので、これを使うこと自体が目的にはなりません。学習内容によって、辞書の役割であったり、ノートの役割であったり、カメラの役割であったりしながら、子どもたちの学習の手助けをする道具の一つと考えています。また、昨年春先のような長期の臨時休校の際などには、学校と子どもたちをつなぎ、学習を停滞させずに、進めていく役割も期待できます。

しかし道具は使い方によって非常に効果的である一方、使い方を誤ると大変な事案につながります。学校では子どもたちには操作スキルだけではなく、正しい知識と活用力を身に付けさせる指導も必要です。今後、学習によっては、タブレット端末をご家庭に持ち帰ったりすることも考えられます。持ち帰った折にはぜひ、ご家庭でもお子さんと一緒に活用についてお話ししていただけると幸いです。

## GIGAスクール タブレット配置

本校にもGIGAスクールで購入されたタブレットが届きました。全校児童一人一人に配布されています。教室には充電保管庫も設置されました。今後、学習はもちろん、様々な活動で活用していきたいと思